

# Discovery Summit Japan 2016 タイムテーブル



(2016年8月22日現在)

Room A	Room B	Room C	Room D	ホワイエ
9:30 受付開始				
10:00 開会のご挨拶				
10:15 【基調講演1】 <b>Triskaidekaphilia</b> John Sall, SAS Co-Founder				ポスター展示
11:15 休憩				
11:30 <b>[A-1]</b> <b>Shaping up Big Data? A data workout with JMP</b> Michele Boulanger, Rollins College 他	<b>[B-1]</b> JMPによる出生数データの可視化と分析 SAS Institute Japan (株) 増川直裕	<b>[C-1]</b> 定量限界を左側打ち切りとする最尤法による各種の統計解析 BioStat研究所 (株) 高橋行雄		
12:20 <ランチ休憩> ※ お弁当をご用意します	Ask the Experts 13:30 – 13:55 ランチセッション「JMPのグラフビルダー、使いこなせていますか？」SAS Institute Japan (株) 小笠原澤 13:30 – 13:55 ポスターセッション（発表者による質疑応答）			
13:55 休憩				
14:00 <b>[A-2]</b> 自動車業界におけるCAEと統計手法の活用 アルテアエンジニアリング (株) 柴田一朗	<b>[B-2]</b> 組織人事領域における解析と設計の一事例 目白大学大学院 川崎昌	<b>[C-2]</b> JMPの機械学習機能を用いた高精度毒性予測法の開発 明治薬科大学 植沢芳広	<b>[Clinical]</b> JMP ClinicalのRBMツールに関する産学連携の勉強会の取り組みについて 東京大学大学院 宮路天平 他	
14:25 休憩				
14:35 <b>[A-3]</b> Using JMP Pro 12 to Investigate Designs Arising from the DOE Custom Design Platform Mark Johnson, University of Central Florida 他	<b>[B-3]</b> JMPによるコンジョイント分析の方法とその適用事例 兵庫県立大学大学院 有馬昌宏	<b>[C-3]</b> JMPによるがん患者血液中循環がん細胞の個別化 昭和大学 (江東豊洲病院) 伊藤寛晃	<b>[Clinical]</b> <演題未定> Geoff Mann, SAS Institute Inc.	ポスター展示
15:25 休憩				
15:40 <b>[A-4]</b> リバースエンジニアリングのための機械加工の戦略的最適設計 目白大学大学院 小川昭	<b>[B-4]</b> 多変量解析を用いた企業ロゴデザインのイメージ調査 首都大学東京 鈴木洋子	<b>[C-4]</b> 統計学的手法に基づく医薬品原薬製造開発への社内取り組みとデータ取得の実例紹介 小野薬品工業 (株) 村瀬辰史	<b>[Clinical]</b> JMP Clinicalを用いたセントラルモニタリングの経験 エイツーヘルスケア (株) 福升悠一	
16:05 休憩				
16:15 <b>[A-5]</b> 難燃化木材生産における品質改善のための難燃化薬剤含浸量ばらつき要因の解析 東京理科大学 安井清一 他	<b>[B-5]</b> 製造ビッグデータを活用するためのJMPアプリケーション バナソニック (株) 原伸夫	<b>[C-5]</b> 企業内人事におけるJMPの活用事例 (株) セブテニ・ホールディングス 進藤竜也	<b>[Clinical]</b> 参加者によるディスカッション (予定)	
16:40 休憩				
17:00 【基調講演2】 <b>The Luck Factor (運のいい人の法則)</b> Richard Wiseman, University of Hertfordshire				(ポスター移動)
18:00 閉会のご挨拶	<b>懇親会</b>	Ask the Experts、ポスター展示も会場内で行います		
18:15				
19:45	終了			

※ 敬称略

※ タイムテーブルは、予告なく変更になる可能性があります。